

意見交換会「地域のことをみんなで話そう会」の実施結果

【開催日時】

1. 日時：令和6年8月21日午後6時30分から 高下公民館 13名参加
2. 日時：令和6年8月22日午後6時30分から 川舟地区公民館 14名参加
3. 日時：令和6年8月23日午後6時30分から 丸志田公民館 15名参加

【次第】

1. はじめに（協議会長挨拶）
2. 住民アンケートの結果説明（全体）
3. 意見交換（グループ別）
4. おわりに

【意見等】

つながり

1. 住民同士のつながり
2. 買物、通学、通院
3. 草刈りや除雪
4. 防災、防犯、見守り
5. クマやサル、イノシシなどの有害獣
6. 空き家
7. 移住者の受け入れ

楽しみ

8. 地域の行事や交流・楽しみ会
9. 地域の宝物（習慣、自然、歴史・文化）

より良い暮らし・改善

10. 公民館の管理や活用
11. 自治会や地域の団体、活動の見直し
12. 地域活動への参加と貢献
13. ケイタイの使い方
14. その他 地域の問題

【主な意見等】

1. 住民同士のつながり

- (1) 昔と比べてコミュニケーションがなくなっている
- (2) 「あいさつ」は基本として大切だと思う。
- (3) 人の家に来たら声をかけること
- (4) もう少し隣組の力を借りてもいいような気がする
- (5) (アンケート) 地域が助けてくれるという安心感がある:45%
- (6) 自分が行くついでに乗せていってもいいけど、乗せるのが怖い
- (7) コミュニケーション不足
- (8) お酒飲む場所もない
- (9) お茶のみして歩いている人はあまりいない。昔はたくさんあった
- (10) コミュニケーションは自分次第なのではないか。
- (11) 最低でも隣の人とのつながりを作るべきではないか。
- (12) 隣の人とのつながりが減ってきた。
- (13) (お話をしに)行ったら迷惑かなと思う時もある。
- (14) 家が狭いから大人数を集めづらい。
- (15) バーデンとか集まれる場所がほしい。持ち込みすれば場所だけなら貸してくれる。バスはない。

2. 買物、通学、通院

- (16) 免許がなくなったらどうしよう
- (17) 10年後の免許返納を考えている
- (18) 免許をいつ返すか。80歳ぐらいか。
- (19) 高下は中山間の事業としてやっている
→通院、買い物支援:対象が75歳以上独居対象→同居家族に75歳以下がいれば対象外、今年度から中山間の加算が減額になり半分になってしまった
- (20) 高下や丸志田は中山間を使っている。川舟は加算が難しい
- (21) 買い物支援も困ってくると思う。今は自動車やお出かけバスを利用しているがそれが使えなくなったら困る。
- (22) 今まで地元商店があり不便がなかったが、店がなくなって不便になったと思う。メモをして遠くへ買い出しに行くことが増えた。メモし忘れもある。80代以上の高齢者には大変。身近なところに商店があればよいと思う。
- (23) 買いだめすることが増えた。

- (24) 買い物は生協を利用している。今後は注文書を書くことができなくなるかもしれない。
- (25) 移動販売がほしい。
- (26) お出かけバスで買い出しに行く。周りの協力もあり、今のところ不自由はないが今後大変になっていくと思う。買い物の配達ができるようになってほしい
- (27) お出かけバスを利用している。バスも利用率が悪いとなくなるのではないかと心配がある。バスがなくなってほしくない。
- (28) 住民の足であるバスの利用は大事(週 2 回)。バスをなるべく利用してほしい
- (29) コンビニが欲しい
- (30) 町内で買い物できる場所が遠い
- (31) 交通手段が少ない
- (32) 髪のカットのチラシが入っていていいと思った。
- (33) 80歳過ぎると不安になると思う
- (34) 隣にも住んでいる人がいないからカギを閉めている。

3. 草刈りや除雪

- (35) 地域でも危機感を持って考えてもらいたい
- (36) 有償でもいいので、地域で草刈りを請け負ってくれる人や団体があればいいと思う
- (37) 今後、県道などの草刈りができなくなるのではないか
- (38) 県道の草刈りをやっているが、2年後、3年後は難しいと考える
- (39) 草刈りで24万円を今はもらえている。これからのことを考えるべき。
- (40) 高齢化により自宅周辺の草刈りが大変になっている
- (41) 業者が基盤整備をやっているが、草刈りをする範囲が2倍以上増えている。果たして基盤整理を行って正解だったのだろうか。農事組合法人がやってくれているところもあるが、将来的に自分たちで草刈りをやっていけるのかという不安がある。除雪も同じく。
- (42) 農事組合法人で働く若者がいるからこそ今は維持できている。将来的にどうなるのか、動ける人はいつまで動けるのか
- (43) 除雪や草刈りについては、やれるまでがんばってもらおう
- (44) 除雪・草刈り(せめて地区内と、隣の家を重視)
- (45) 雪が多いのは仕方がない
- (46) 冬の季節は雪が多くて除雪や買い物に出かけるのが大変
- (47) サロンで除雪支援を行っている。

- (48) 玄関前のみ雪を払い周りを払っていかない人がいる。なんでもかんでもボランティアで対応するのには限界がある。
- (49) 若い人は役場や農協などに務めているので、個人の除雪ができていない。仲間同士で除雪し合うのが難しい箇所もある。除雪支援を受けるところはみな一人暮らし世帯で大変だ。
- (50) 除雪車の除雪はしっかりと雪が払えているところ、払えていないところの差が大きい。偏りのない除雪を行ってもらいたい。除雪車でしっかりと払ってもらうよう地域で働きかける必要があるのではないか
- (51) 県道除雪に伴う残雪に困っている(重機によるものは、大きくて硬い)。玄関に雪を置かないでほしいが直接言えない。現状は仕方がないとあきらめている。
- (52) 除雪車の講習で玄関に雪を置かないように、特に一人暮らし宅への除雪の配慮が必要と教えられているという話もあるが、地域で働きかけるべきではないか。
- (53) シャッター付きのローラーを回すように県の土木センターに掛け合ってほしい。
- (54) 除雪は、近所に助けてもらったりしている。
- (55) 流雪溝がほしい。
- (56) 流雪溝はいい面ばかりでなく、流雪溝がある新町では、排雪の面で困っているようだ。
- (57) スノーバスターズがちゃんと機能していない
- (58) 老人世帯の除雪などを地域で考える
- (59) 車庫前、家の入口等にブルで雪の塊を残していくのが何回も続くと、払ってもらってもありがたみがなくなってしまう
- (60) (アンケート) 雪のことで困っている:52%。一人暮らしの人:54%
- (61) 通勤時や買い物にでかける時雪が多くて自家用車を運転するのが難しい。
- (62) 家屋周辺の除雪が困る
- (63) 除雪の際に機会を扱える人がいないと除雪に苦勞する
- (64) 除雪、窓や屋根の破損が困る
- (65) こういうものだと思ってきて住んでいる
- (66) 除雪は今のところ周りの人と協力してできているが、10年後はどうだろう……。

4. 防災、防犯、見守り

- (67) 一人で暮らすことに不安がいっぱい
- (68) 地震がきたらどうしようと思う
- (69) 消防団は頑張っている
- (70) 何かあって避難する時、公民館は避難所として開放すべきではないか

- (71) 大雨が降ったりすると沢が危ないと言われており心配である。自分ができる対策とご近所での助け合いは必要だと思う。
- (72) 災害時に必ず公民館に集まるということではない。状況に応じて公民館に避難するか、自宅に留まるか、ケースバイケースで考える必要がある
- (73) 防災訓練は続けてやっていく必要がある。年に1回、どこの地域でも防災訓練をやっているのではないか
- (74) 災害など非常時に、地域の誰がリーダーシップをとるのかはっきりしていないという問題がある
- (75) 婦人会の役員は少なくなっているが、災害時の食事対応など、動く体制はできている
- (76) 災害時の声掛けなど、今ある仕組みにプラスして上手に利用できる工夫を考えたい
- (77) 有事の際の連絡網が必要なのではないか
- (78) この地域は火事になったら水がない。防火用水に使う水路を引くのはどうか
- (79) 沢内に、災害の時だけではなく、クマが出た時にも利用できる防災スピーカーを設置してはどうか
- (80) 鍵をかけない家庭が多い、防犯のためにも玄関の鍵はかけたほうが良い
- (81) 玄関の扉の施錠が大変
- (82) 玄関はカギをしても、施錠できていない窓があったりする
- (83) 昔はだんだんに話が伝わったりしたが、今はそうではない。住んでいても施錠している家もある
- (84) 一人暮らしでずっと施錠されていて安否がわからないケースがあった。そのような家庭は近所や仲の良い人に合いカギをもってもらえばいいと思う。
- (85) 見えるところに緊急用の合鍵が必要ではないか
- (86) 前は万一の場合を考えて家族がカギをそれぞれ持っていたが、今は秘密の場所を決めて保管している
- (87) 昨年、町外の方によるものらしいが不法投棄があった。地主さんが言わない限り撤去できないとのことで困っている。町にも報告済だが、町が関わることではないと言われた
- (88) 中国人の鉄くず等の引きとり車がかかることがある
- (89) 一人暮らしの見守りは民生委員や中山間の事業でやっている
- (90) 一人暮らしの人は、電話ではなく直接会いに来てくれると嬉しいようだ
- (91) 一人暮らしの人はぜひサロンに来てほしい
- (92) 一人暮らし、二人暮らし世帯の見守りを、チャイムなどを利用してやってはどうか

- (93) 自宅訪問でお年寄りたちの体調等の様子や話を聞いてあげられる活動
- (94) 防災訓練をやって災害時に対応できる体制にする
- (95) 高齢者の一人暮らしだと、何かあった時に助けを求める術がないので、何かシステムが必要
- (96) 子どもが町外・県外在住のため、今後のことが心配です
- (97) 昔からの災害の歴史を学ぶ

5. クマやサル、イノシシなどの有害獣

- (98) 気候の変化で有害鳥獣の被害も年々変化している。範囲も広がっている
- (99) 去年はクマに襲われたり、米を食べられたりするなどの被害が多かった。
- (100) 去年はトウモロコシを食べられたが、今年はハクビシンが来ていない。
- (101) 今のところ被害がなく畑も順調に作物が育っている
- (102) 盆前にサルが道路を渡っていった。今年はサルが出ている
- (103) 高下でもサルが出ている、サルの被害かはわからないが農作物にも被害が出ている
- (104) 行政は狩猟免許を取る人に補助をだすようだがハンターのなり手がいない
- (105) 有害鳥獣がいたら、隣近所や役場に連絡するようにしましょう
- (106) 町としての対策はどうなっているか
- (107) クマを殺してもらいたが数に限りがあるからなかなかやってもらえない

6. 空き家

- (108) 今のところ空き家はそれなりに管理されている。周辺で実害は出ていない。
- (109) 空き家の管理、除雪は大きな問題だと思う。
- (110) 空き家を壊すにも何百万とお金がかかる。空き家で人に迷惑をかけているケースはどんなのがあるか
- (111) 空き家の管理者へ連絡がつかならよいが、管理者に連絡がつかない空き家もある
- (112) 家の跡継ぎがどうなっているかという問題がある
- (113) もし地域で空き家の除雪を行うのであれば、お金をもらって行うべきではないか。
- (114) 空き家、地域除雪は雇用に結びつけられるのではないか。
- (115) 玄関前のみ雪払いをして、周りを払っていかない人がいる。なんでもかんでもボランティアで対応するには限界がある。
- (116) (空き家の)持ち主ではないので空き家の中までは入っていけない。完全に廃墟みたいになっている家は我々の手に負えない。

- (117) 片付けなどを町にやってもらえないか
- (118) 空き家を利用して住みたいという人がいる。空き家バンクの利用促進が必要
- (119) 住民は空き家バンクのことを知らないのではないか
- (120) 空き家バンクはあるが、片付けないまま登録しているがどんなものだろうか
- (121) 空き家バンクに登録している住宅は少ない。人に貸すのは嫌だと思っている人も
いるのではないか。子どもが里帰りした時のために残しているというところもある
- (122) 誰が来て管理しているのかどうか分からない家もある
- (123) 川舟地区で空き家を共有できればいいのではないか
- (124) 何かあったとき用に管理を地域でやってみてもいいのではないか
- (125) 空き家を移住者の受け入れ先にすればいいのではないか
- (126) 別荘のような使い方でもいいのではないか
- (127) 空き家対策が大きな課題になる。空き家をどうするか考えてほしい
- (128) (アンケート) 空き家は問題である:74%。一人暮らしの人でみると87%が問題と
回答
- (129) 空き家は壊すのが大変だと悩んでいる。
- (130) 川舟では3件空き家がある
- (131) 空き家バンクを利用してもらうのがいい

7. 移住者の受け入れ

- (132) 移住者は「来てくれるのであればどうぞ」という感じ
- (133) 不安感はある
- (134) 集落が壊される可能性もあるのではないか
- (135) しゃべりすぎる人も大変だがしゃべらない人も困る
- (136) 外国人でもよい
- (137) この地域の人口を増やしたい
- (138) 移住者を受け入れられるような魅力的な地域づくりが必要
- (139) この地域に移住者がくるようにしたい
- (140) 移住者との向き合い方も重要
- (141) 移住してきた人が集まりに参加しない。
- (142) 地元出身者は他県・他市町村から嫁や婿を連れて、覚悟してUターンしてくる人
が多い
- (143) 今の若い世代は農業・林業に従事する人が少ない。西和賀町役場職員でも他市

町村に住んでいる人も多いが役場は地元に住む住民を採用すべきではないか

(144) 西和賀の役場に西高生が入れるようにしてほしい

(145) 若者が住める環境を整えてほしい

(146) 外国人の場合、コミュニケーションが難しい

(147) 川舟に住みたい人を増やしたい

(148) 企業連が昔はあった。今は別のものができている。

(149) 沢内として一つの大きな働き口になるのではないだろうか。

(150) 大きな会社になってくれればやりやすいと思う

(151) 若い人たちの働く場所がない。給料も少ない。

8. 地域の行事や交流・楽しみ会

(152) 現状、サロンの参加者はかなり少ない。始めたころは 20 人以上参加していたが、今は 7 人程度である。地域で参加するように声掛けをしてほしい

(153) 高齢者のみではなく子どもたちの参加も OK にするなど、参加年齢の制限を撤廃すべき

(154) サロンは老人クラブが主催となっている。シルリハ体操を行っているが、あれは自分の体の調子を整える体操なので、是非みんなにやってもらいたい

(155) シルリハ体操は良いと思う。やれば体の動きが良くなる

(156) 今、サロンに参加している人は話し相手がほしくて参加しているのではないか。お話ができる場は必要だと思う

(157) サロンに女の方は集まるが、男の方はあまり集まらない

(158) サロンへの送迎については保険をかけて行っている。年齢関係なくシルリハ体操を覚えたりお話をしたりしてみんなで参加してほしい

(159) 敬老会の現状は担当の負担が大きすぎる、公民館ごとにとむしろ負担がかかるのではないか。コロナで休みを挟んだが、復活させるのはとてもエネルギーを使うので大変なことだ

(160) 行政区の公民館 1 か所で行うと年寄りが来なくなる

(161) 行事のような堅苦しいものではなく楽しみ会のようなものが、簡単な形でもっとできればいいと思う

(162) 盆踊りは運営側の人手不足で店が出せなかった。大人だけではなく子供向けの店を出せたらいいと思う

(163) 地域の集まりやお茶会が増えればいい

(164) 今年の盆踊りの参加者は、他地区から来た人が多かった

(165) おいしい野菜づくりを誰かから教えてもらいたい

- (166) このままではひきこもりになる
- (167) 一年に一度、地域の旅行ができれば楽しい
- (168) 一日でいいから温泉に行ってゆっくりしたい
- (169) カラオケの場所が欲しい。公民館でもよい。歌いたい
- (170) みんなが参加できるイベントが欲しい
- (171) 家にあるモノでフリーマーケットがしたい
- (172) イベントが中止になってもその代わりになるものがほしい
- (173) 食事会
- (174) 郷土料理を学びたい
- (175) 植物を使った炭づくりに挑戦したい
- (176) 流しそうめん大会、花火大会、屋台があってほしい
- (177) 年齢に関係ない区全体で参加できるような行事などが必要
- (178) 冬におしゃべりの相手がいなくなる
- (179) 気軽に集まって世間話やゲーム、カラオケなど楽しみ合う集会所があってもいい
- (180) 冬の暇な時にみんなで漬物づくりをしてみたい
- (181) 地元の昔の食事(漬物、山菜料理、慶弔等に使えるもの)を教えてくれる活動に参加してみたい

9. 地域の宝物(習慣、自然、歴史・文化)

- (182) 若畑のように地域の史跡に説明や標柱などの目印がほしい
- (183) 冬場は地蔵様のあたりの雪払いが大変。誰が見ても大事なものとわかるように目印を立てるなどして整備した方がよい
- (184) コロナ明け後の神社のしめ縄が粗末だった
- (185) 神社の杉の木が道路を狭くしている
- (186) 地域の観光資源の見直ししてみる
- (187) 地域で宝探しのようなものができればいいと思う。大人だけではなく子供や来た人に気軽に地域のことを知ってもらうきっかけにしたい
- (188) 地域文化の継承ができなくなる。文化・行事の伝承活動が必要
- (189) 盆踊りの太鼓を覚えたい
- (190) かたごの会の一本漬け作りは継続していきたい
- (191) 地域の文化、自然、歴史。
- (192) 自然景観、田植踊りなどの伝統文化。

- (193) 地域文化、自然
- (194) 盆踊り
- (195) お祭り関連、田植踊り
- (196) 地域のお宝に興味がある
- (197) 観光資源、沢内のみんなに知ってもらいた伝統が途絶えてきている。
- (198) 三拍子は復活したくても敲けない。
- (199) 盆踊りの行事の魅力が欠けてきている

10. 公民館の管理や活用

- (200) 公民館で何をやっているのかわからないという意見を聞く
- (201) 親しい人に声をかけ参加するよう促してみてはどうか
- (202) 施設を利用したらその人たちで掃除や片付けをしてもらいたい。施設を使う上で不便なことがあれば総会で話してほしい
- (203) 鍵を持っている人が数名いるようだが、鍵のありかがわからない(今は管理人、館長、管理人が持っている)
- (204) 公民館の管理を館長さんだけではなく、地域でできないものか。鍵を持っている人が利用しやすいというだけではなく、部屋数も多い施設なのでもっと利用しやすくできないものか。
- (205) カギの管理は館長さんに負担がかかるので、管理人さんがいた方が良い
- (206) 公民館を今以上に気軽に利用できればと思う(会議、災害時の避難場所、行事だけでなく)
- (207) 公民館をおしゃれなカフェみたいにした
- (208) 高齢になるにつれ、月数回でも、みんなが集まって体操やおしゃべりする場がほしい。特に冬場は必要
- (209) 公民館をもっと使いやすくする
- (210) 高齢者が普段に集い、お茶を飲める場所や食事提供できる場所があったらいい。
- (211) 住民同士が自由に集まれてお互い励まし合い、支え合う場がほしい
- (212) カフェ的な憩いの場所がほしい
- (213) 公民館等に集まって血圧測定や雑談をする
- (214) 公民館にエアコンをつけよう。階段を登るイスもつけよう。一階を広くしよう。

11. 自治会や地域の団体、活動の見直し

- (215) 地区の役職を一人に集中させないでほしい。そうならないよう行政も力や知恵を

貸してほしい

- (216) 役職が多すぎる、一人1役が望ましい
- (217) 役職など一部の人が一生懸命取り組んでも地域づくりはできるのでしょうか
- (218) (アンケート) 自治会などの地域の組織や団体の運営に課題を感じる:41%。
- (219) 昔のやり方にとらわれず、今できることを無理せずやってみの方がよいと思う。
- (220) 人口減少に伴い、区や地区の運営も厳しくなると思います。徐々に区や地区の合併も必要と思いますが、それぞれの地域の特色や考え方もあり、すんなりと上手くいくとは思えない。
- (221) 高齢化により先に立ってくれる人がいなくなるのではないかと思う。
- (222) 組織の高齢化、担い手不足。
- (223) 人間関係が課題
- (224) 慰労会の準備や片づけが地区の婦人会に委託され、女性のみで行っている、まだまだ女性のみで行っている。地区長が男性が多いなど、まだまだ男女の壁があると思う
- (225) 週1回の交通立ち合いは必要ですか。出来れば参加したくないのですが。

12. 地域活動への参加と貢献

- (226) 若者をどうやって集めるか悩んでいる
- (227) 若い人たちに興味をもってもらいたい。
- (228) 町への要望として、にしわが斎苑や沢内バーデンの利用方法の見直しをしてほしい
- (229) 企画の仕方を工夫すべきではないか。時間中ずっと踊っているのではなく、踊りは30分間とか時間を決めてやるのもいいのではないか
- (230) 地域や公民館について意見を言える場なので、住民はせめて総会には出てほしい
- (231) 高下は地域行事の参加率が高い方だと思う
- (232) 現状に合わせて行事のやり方を変えていく必要があると思う
- (233) 地域活動への参加は、その人の考えしだいでしょうがない。私は好きなので参加する
- (234) 移住してきた人が集まりに参加しない(再掲)
- (235) 行事に参加しないのは、日中仕事していて忙しいからだと思う。「忙しくて参加できません」と言われる
- (236) 家の仕事も忙しい。自分のご近所の草刈りまでやっている
- (237) 行かない人はどうやっても行かない

- (238) ここはまだ敬老会に出る人が多いが、湯田の方では行かない人も多いようだ
- (239) 地域活動に参加する人が限られている
- (240) 地域活動で頑張っている人を褒める制度があってもいいのではないか
- (241) どのようにしたら若者たちが行事等に参加するようになるか真剣に考えてほしい
- (242) 各戸や個人でさまざまな団体に加入することになり、行事が多すぎる
- (243) 人数が少なくなっていくので、もう少し地域を広げて活動していったらどうか
- (244) (アンケート) 地域の行事や活動にできるだけ参加したい。73% (できれば参加したい33%、内容によっては参加したい40%)
- (245) (アンケート) 地域の問題に地域も関わって解決すべきだ:32% (60歳以上が40%、60歳未満16%)
- (246) 参加する人がいつも同じ人になってきている
- (247) 住宅の人たちが地域の行事にあまり参加しない理由がわからない。

13. ケイタイの使い方

- (248) スマホやパソコンなどの操作で困っていることはありますか(ある 12.7%、わからない 52%)

14. その他 地域の問題

- (249) 10年後、20年後、どうなっているかが気になる
- (250) 高齢者世帯が多く日常生活が困難になるのではないかと。
- (251) 高齢化、高齢者世帯の増加、人口減少に不安を感じる
- (252) 西和賀に仕事が少なく、盛岡や北上などに出なければ収入が確保できない。通勤時間も非常に長い。
- (253) 働く場所が少ないところ、町内から若者が出ていくことに不安を感じる
- (254) 高齢化、少子化、人口減少に伴う生産人口の減少に不安を感じる
- (255) 交通や近所まわりに不安を感じる
- (256) 人数が減っていき、いずれ町がなくなるという不安。
- (257) 日常生活が困難になるのではないかと、自治会がなりたたなくなるのではないかと。
- (258) 暮らしにくい(草刈りなどの共同作業ができない)
- (259) 地域活動の担い手不足、参加者の減。
- (260) 世帯の孤立、生活困窮
- (261) 若者が少ない
- (262) 地域自治の担い手不足、地域消滅の危機
- (263) 今後の負担

- (264) コンビニない。
- (265) 一人暮らしで、自分が死んだあと墓や家をどうすればいいか不安
- (266) 川舟でバスを買ってみてはどうか。(利用してくれる人、維持費、運転手がほしい)
- (267) 葬式を家でやる人が少なくなった。家族が泊まれて、シャワーを使えるようにしてほしい。
- (268) バーデンや空き家を改造してやってもらいたい
- (269) 自分の山がどこからどこまでかわからない
- (270) (山について)子供たちからどうにかしてほしいと言われている。相談が面倒くさい。いらないと言われる。